

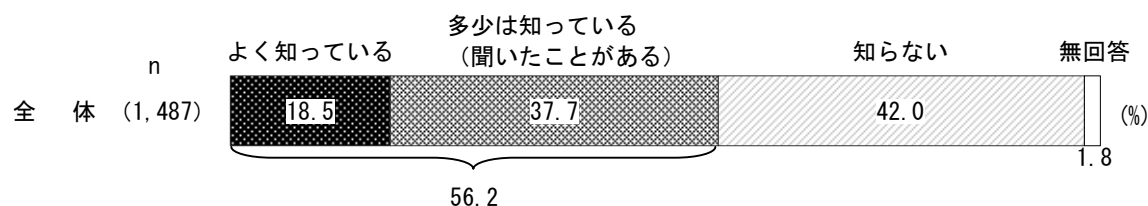
## 5 動物愛護管理について

### (1) ペット飼い主の責務として終生飼養に努める規定の認知度

◇『知っている』は5割台半ば

問 16 あなたは「動物の愛護及び管理に関する法律」にペット動物の飼い主の責務として、  
できる限り終生飼養に努めることと規定されていることを知っていますか。(○は1つ)

<図表 5-1> ペット飼い主の責務として終生飼養に努める規定の認知度



「動物の愛護及び管理に関する法律」にペット動物の飼い主の責務として、できる限り終生飼養に努めることと規定されていることを知っているかどうか聞いたところ、「よく知っている」(18.5%)は約2割、「多少は知っている(聞いたことがある)」(37.7%)が約4割で、「よく知っている」と「多少は知っている(聞いたことがある)」を合わせた『知っている』(56.2%)は、5割台半ばとなっている。(図表5-1)

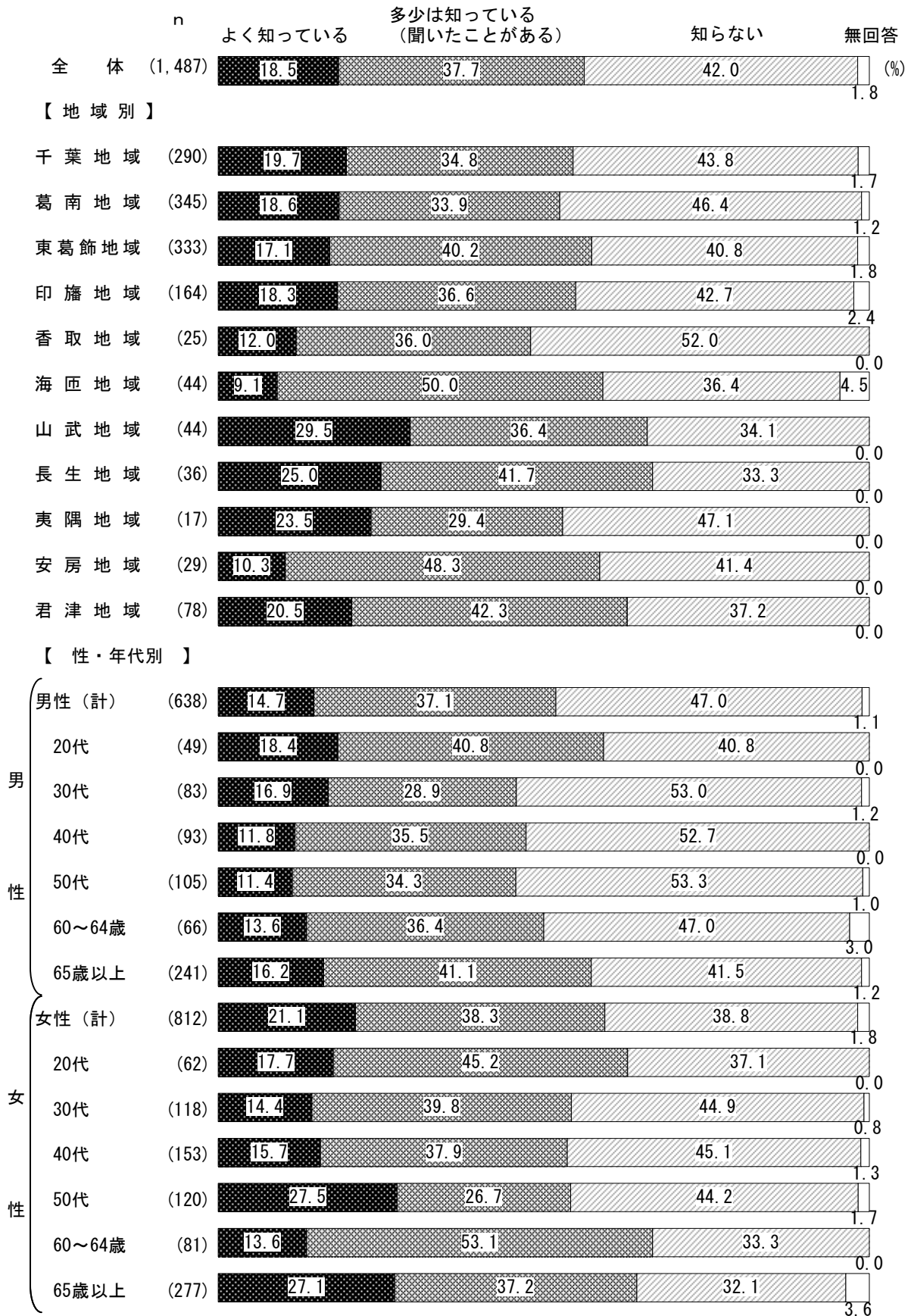
#### 【地域別】

地域別にみると、『知っている』は“長生地域”(66.7%)、“山武地域”(65.9%)が共に6割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。(図表5-2)

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている』は女性の60~64歳(66.7%)、65歳以上(64.3%)、20代(62.9%)が6割以上で他の年代に比べ高くなっている(図表5-2)

<図表5-2>ペット飼い主の責務として終生飼養に努める規定の認知度/地域別、性・年代別

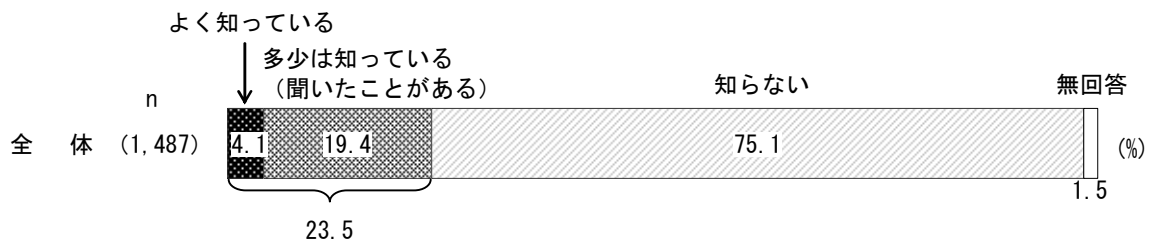


## (2) 地域猫活動 認知度

◇『知っている』は2割台半ば

問17 あなたは地域猫活動のことを知っていますか。(○は1つ)

<図表5-3>地域猫活動 認知度



地域猫活動について聞いたところ、「よく知っている」は4.1%、「多少は知っている (聞いたことがある)」(19.4%) が約2割、「よく知っている」と「多少は知っている (聞いたことがある)」を合わせた『知っている』(23.5%) は、2割台半ばとなっている。(図表5-3)

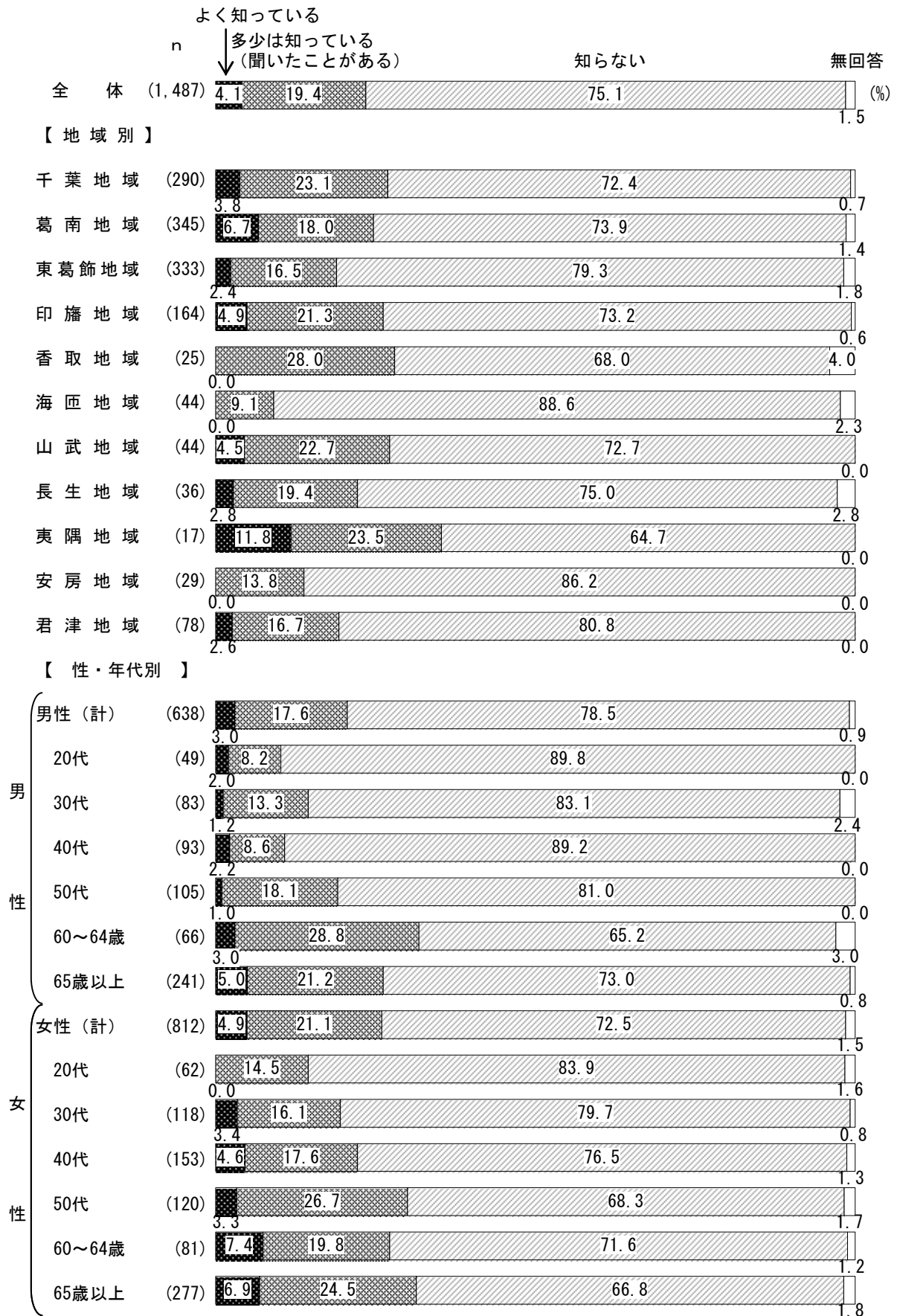
### 【地域別】

地域別にみると、『知っている』は“夷隅地域”(35.3%) が3割台半ばで他の地域に比べ最も高く、次いで“香取地域”(28.0%)、“山武地域”(27.2%) が約3割となっている。(図表5-4)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている』は男性の60～64歳(31.8%)、女性の65歳以上(31.4%) が3割を超えて他の年代に比べ高くなっている。(図表5-4)

<図表5-4>地域猫 認知度／地域別、性・年代別

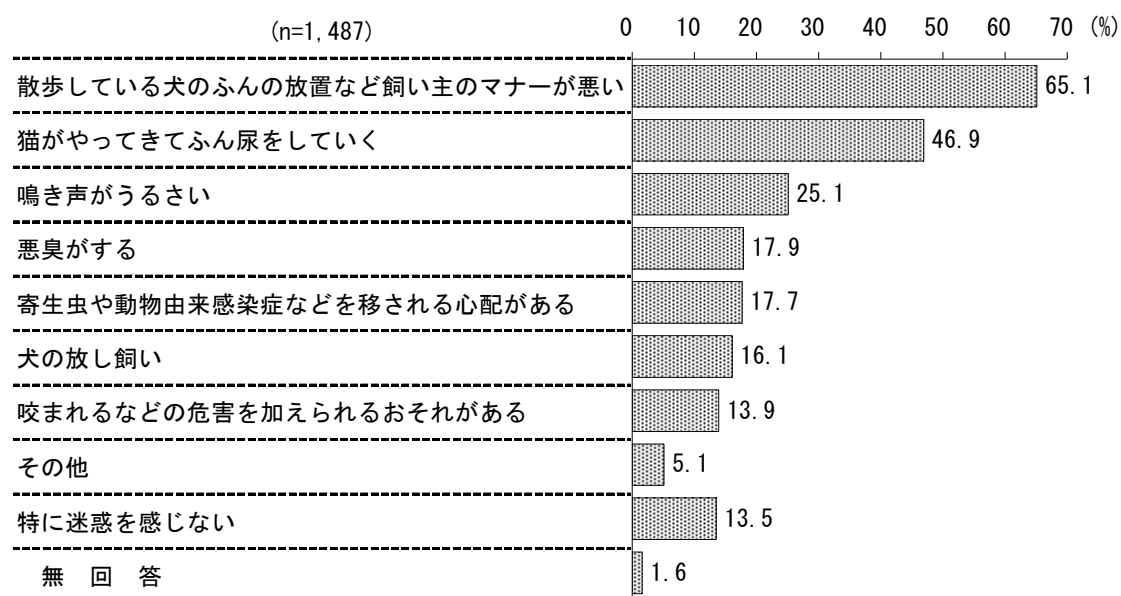


### (3) ペット動物から感じる迷惑

◇「飼い主のマナーが悪い」が6割台半ば

問 18 あなたはペット動物について、どのようなことに迷惑を感じますか。(〇はいくつでも)

<図表 5-5> ペット動物から感じる迷惑



ペット動物から感じる迷惑について聞いたところ、「散歩している犬のふんの放置など飼い主のマナーが悪い」(65.1%)が6割台半ばで最も多く、次いで「猫がやってきてふん尿をしていく」(46.9%)、「鳴き声がうるさい」(25.1%)と続いている。(図表 5-5)

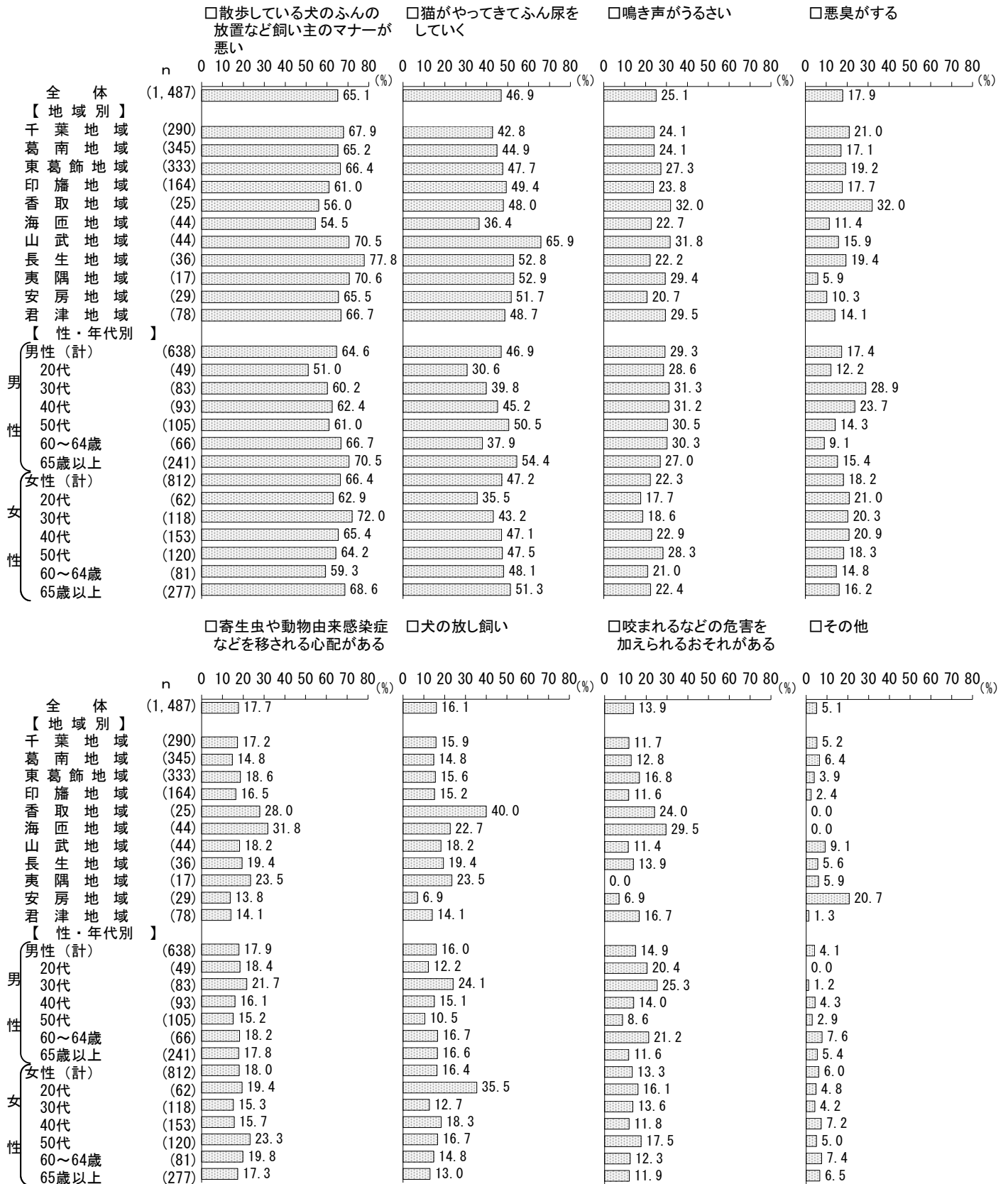
#### 【地域別】

地域別にみると、「散歩している犬のふんの放置など飼い主のマナーが悪い」で“長生地域”(77.8%)が約8割と他の地域に比べ高くなっている。「猫がやってきてふん尿をしていく」では、“山武地域”(65.9%)が6割台半ばで高くなっている。(図表 5-6)

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「散歩している犬のふんの放置など飼い主のマナーが悪い」は女性の30代(72.0%)、男性の65歳以上(70.5%)が7割以上で他の年代に比べ高くなっている。「猫がやってきてふん尿をしていく」では、男性の65歳以上(54.4%)、女性の65歳以上(51.3%)、男性の50代(50.5%)が5割以上となっている。(図表 5-6)

<図表5-6>ペット動物から感じる迷惑/地域別、性・年代別

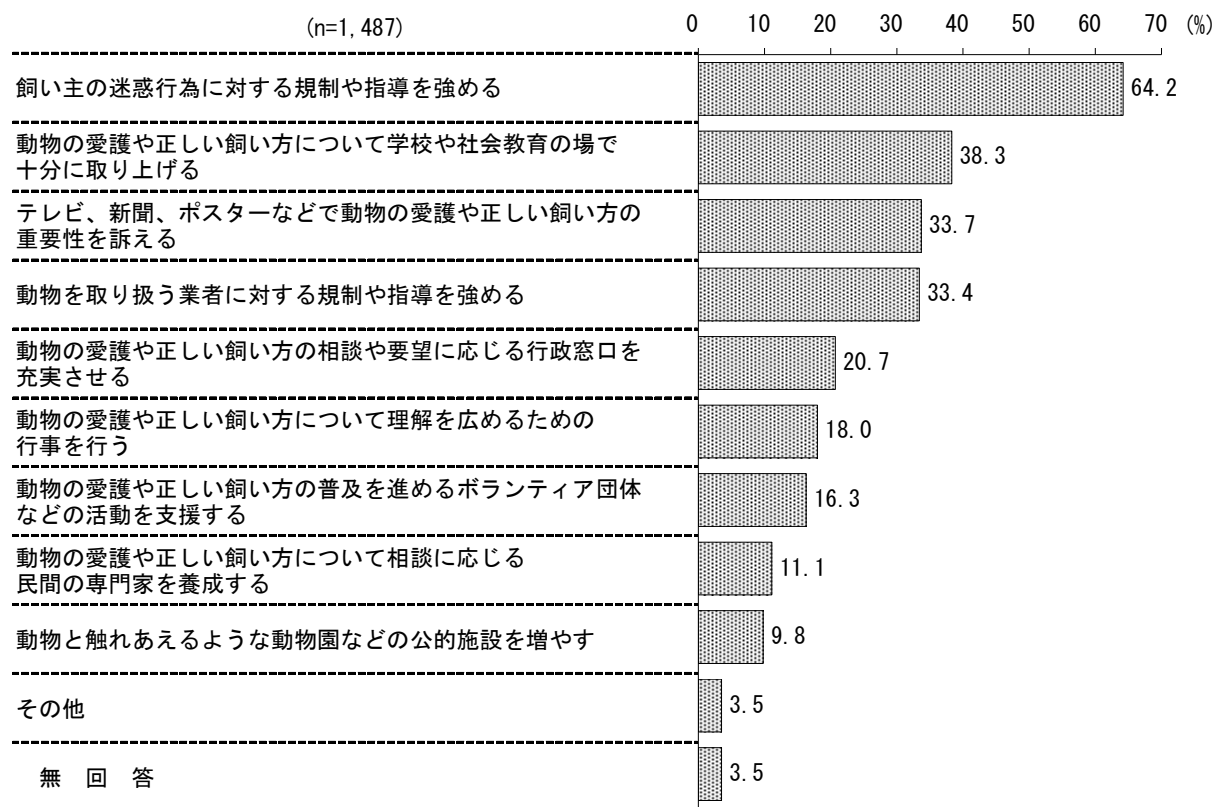


#### (4) 動物愛護や適正飼育のために、行政が取り組むべきこと

◇「飼い主の迷惑行為に対する規制や指導を強める」が6割台半ば

問 19 動物の愛護や適正な飼育の推進のために、行政が取り組むべきことは何だと思いませんか。  
(○はいくつでも)

<図表 5-7> 動物愛護や適正飼育のために、行政が取り組むべきこと



動物の愛護や適正な飼育の推進のために、行政が取り組むべきことを聞いたところ、「飼い主の迷惑行為に対する規制や指導を強める」(64.2%)が6割台半ばで最も高く、次いで「動物の愛護や正しい飼い方について学校や社会教育の場で十分に取り上げる」(38.3%)、「テレビ、新聞、ポスターなどで動物の愛護や正しい飼い方の重要性を訴える」(33.7%)、「動物を取り扱う業者に対する規制や指導を強める」(33.4%)と続いている。(図表 5-7)

#### 【地域別】

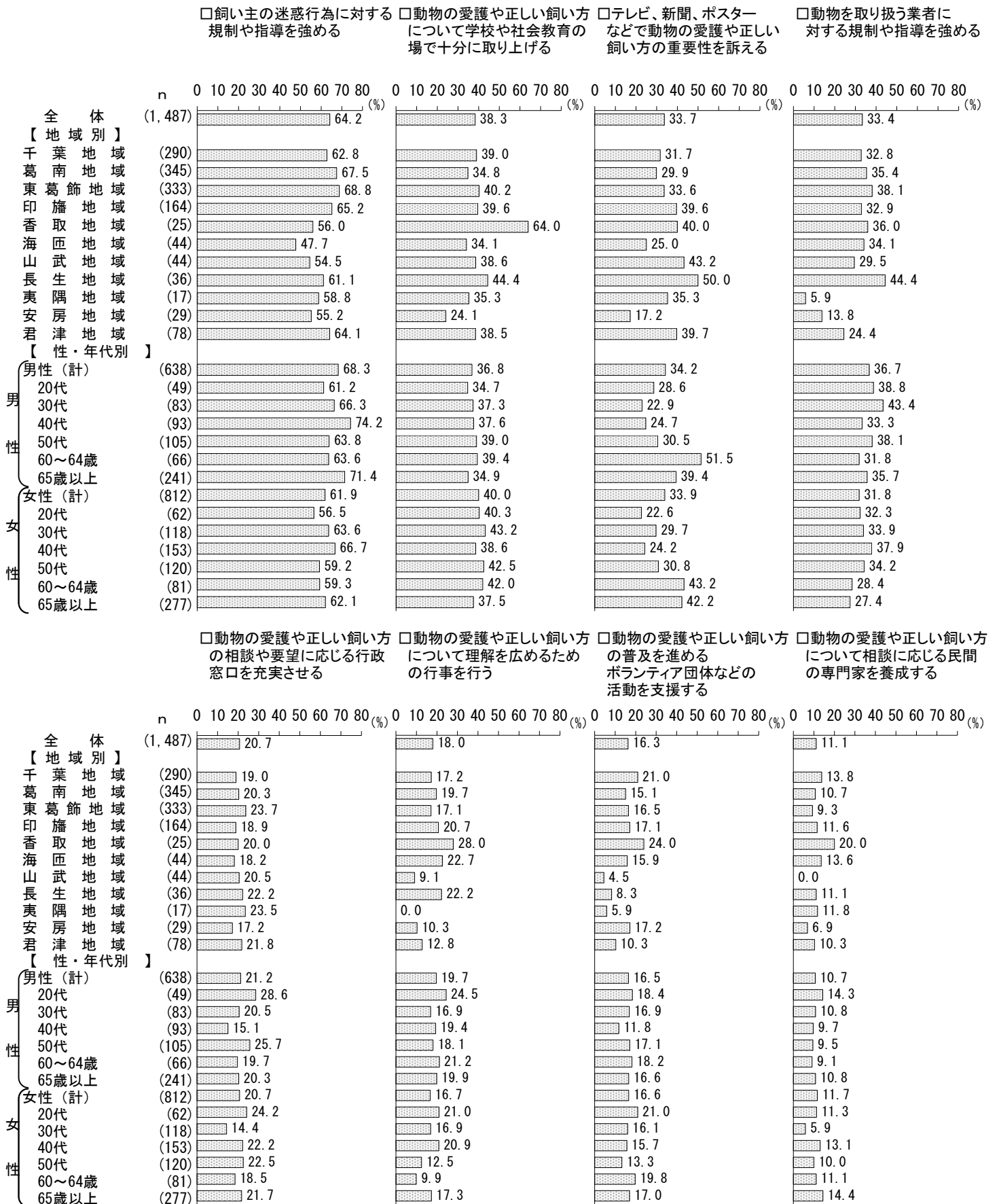
地域別にみると、「飼い主の迷惑行為に対する規制や指導を強める」で“東葛飾地域”(68.8%)、“葛南地域”(67.5%)が約7割と他の地域に比べ高くなっている。「動物の愛護や正しい飼い方について学校や社会教育の場で十分に取り上げる」は“香取地域”(64.0%)が6割台半ば、「テレビ、新聞、ポスターなどで動物の愛護や正しい飼い方の重要性を訴える」では、“長生地域”(50.0%)が5割、「動物を取り扱う業者に対する規制や指導を強める」は、“長生地域”(44.4%)で4割台半ばとなっている。(図表 5-8)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「飼い主の迷惑行為に対する規制や指導を強める」では男性の40代（74.2%）、65歳以上（71.4%）が7割以上と他の年代に比べ高くなっている。「動物の愛護や正しい飼い方について学校や社会教育の場で十分に取り上げる」は、女性の30代（43.2%）が4割台半ばとなっている。「テレビ、新聞、ポスターなどで動物の愛護や正しい飼い方の重要性を訴える」は男性の60～64歳（51.5%）が5割を超え、「動物を取り扱う業者に対する規制や指導を強める」では、男性の30代（43.4%）が4割台半ばとなっている。（図表5－8）



<図表5-8> 動物愛護や適正飼育のために、行政が取り組むべきこと／地域別、性・年代別



このほかに、「動物愛護管理について」やここまでの質問（問16～問19）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、175人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「動物愛護管理について」の自由回答（抜粋）

- 犬を飼っていましたが、13年、病気で亡くなりました。その時の医療の高さにびっくりしました。途中で動物を捨ててしまう人が多いのは、お金がかかりすぎる事も。私の地区では犬のふんの始末の看板が空き地に立ててありますが、守っていない人が多い。一番大切な、飼い主が手離さないで、最後まで見届ける事。（女性・65歳以上・君津地域）
- 動物を飼うには許可証を発行するように…。その犬種や猫などの講習を義務化し、きちんと理解した人のみに購入できるようにした方が良い。あまりにも安易に購入できるので、飼育放棄する人が多い。飼育環境を確認するべき。（女性・40代・印旛地域）
- 動物を購入する際、飼育講習を受けさせ、飼い主としての責任を持たせる為の誓約書の記入、違反時の罰則を与える等、徹底しない限りなくならないと思います。（男性・30代・長生地域）
- ペットを飼う場合は、全て届出制が良い。捨てられるペットが減ると望ましい。  
(男性・50代・東葛飾地域)
- 地域猫活動の周知徹底が弱い。地域の誰がどこを知らなければ、えさをあげている人に批判的になる。知り合いの猫好きなお婆さんが、のら猫と話してただけで隣家の主婦からにらまれたり、お家で飼ったのですかと言われたと先日も嘆いていた。のら猫の対処法は場所、活動者名を公表しないと批判される。タスキかゼッケンでもつけているんですか。  
(女性・65歳以上・葛南地域)
- 近くに少し幅広な歩道があり、散歩やジョギングの人に親しまれている。そこに時々、犬のふんがあり、見かけると気持ちの悪いものです。せめてマナーだけは守ってほしい！  
(女性・50代・葛南地域)
- 私も犬を飼っていましたが、リードをしなかったり排泄物の処理をしない人を多数見ました。飼い主に対する教育の充実と罰則の強化が望まれます。罰金の額を上げるのもひとつの方法かと思えます。（女性・50代・君津地域）
- 散歩してフンを放置する飼い主が多く、迷惑をしているので、高額な罰金をとるようにしてほしいです。野良猫に、むやみやたらとえさを与えている人にも困ってます。（女性・40代・安房地域）
- ペット税を設定すべき。動物愛護行政に予算が使われるのであれば、その分をまかなう税金を飼い主が負担すべき。（男性・30代・印旛地域）